

宅配ボックスポール

施工要領書

このたびは、三協アルミ商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

●施工は専門業者様が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

設置上の注意事項

- 宅配ボックスポール以外への転用や改造は行わないでください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないように柱位置を決めてください。
- 給湯、暖房などの燃焼機器の排気ガスまたは車の排気ガスが直接商品に当たったり、滞留しないように設置してください。
塗膜の剥がれなどの表面異常が発生するおそれがあります。

施工上の注意事項

- 指示してあるボルトやねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し傾かないよう垂直に取り付けてください。
 - 指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。
 - 基礎は当社指示寸法以上にしてください。
 - 基礎はコンクリートを用いて施工してください。
 - コンクリートやモルタルの養生期間は十分（4日～7日）にとり、養生期間中は重い物をおいたり振動させたりしないよう、お客様や
- 他の工事業者様にお願いするか、その旨の注意表示をしてください。
 - 基礎用のコンクリートやモルタルに海砂を使用しないでください。塩分による腐食の原因となります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - アルミ部材の表面に付着したコンクリートやモルタルなどの汚れは、速やかに取り除いてください。
 - 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてく
- ださい。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。また、柱内部の水が排出できない場合は、G.Lライン上部のアルミ部材にφ5mm程度の水抜き穴をあけてください。
 - 施工後、ボルトやねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどがなければ点検してください。
 - 作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどがなければ確認してください。

梱包内容

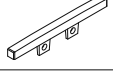
- 開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容も確認してください）。
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■宅配ボックスポール本体 [FMP-□□]

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
柱		RL各1	ホールシール GA0150		2
上枠		1	ガイド WD1730		1
柱カバー		2	小ねじトラス 4×7×8		2
上枠カバー		1	小ねじ皿 4×7×7		4
裏板 GB6716		2	タッピン2種なべ 4×37×7G5		8
柱キャップ GB6717		2	施工要領書 HZ2012		1

梱包内容

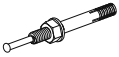
■宅配ボックスポール本体 [FMB-□□]

名 称	形 状	数 量
柱		RL各1
上枠		1
柱カバー		2
上枠カバー		1
裏板 GB6716		2
柱キャップ GB6717		2
ホールシール GA0150		2

名 称	形 状	数 量
ガイド WD1730		1
小ねじトラス 4×7×8		2
小ねじ皿 4×7×7		4
タッピン2種なべ 4×37×7G5		8
十字穴付き六角ボルト Wセムス6×20		8
施工要領書 HZ2012		1

■宅配ボックスベースプレート部品 [FM-BP]

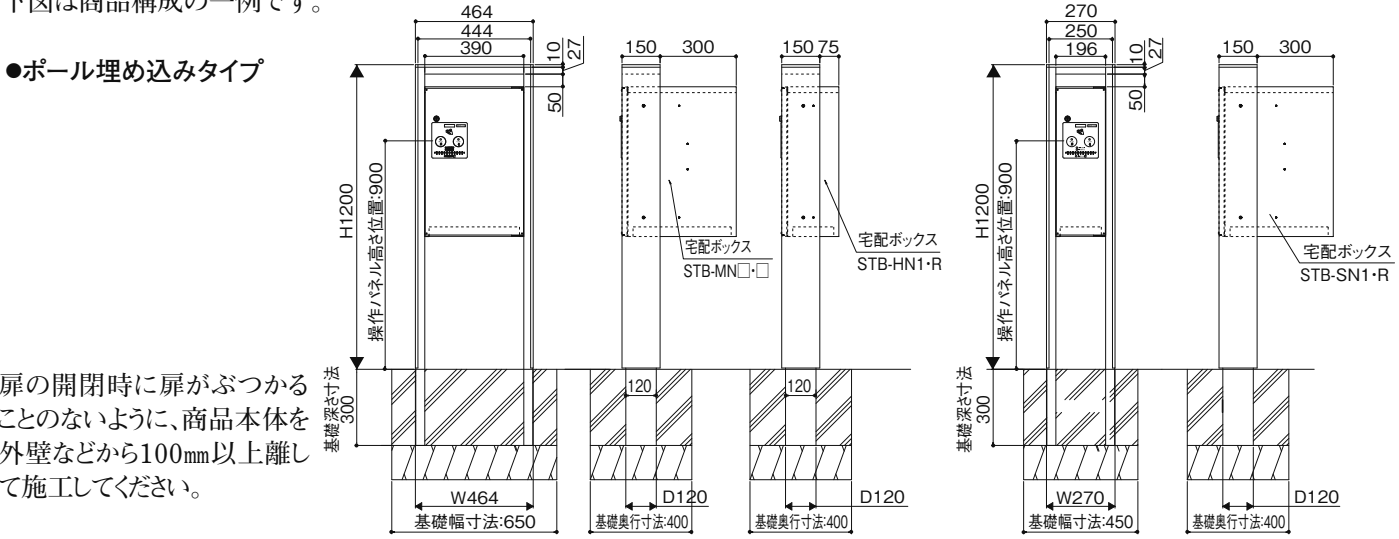
名 称	形 状	数 量
ベースプレート GB9396		2
ばね座金 呼び10		4

名 称	形 状	数 量
平座金 呼び10		4
袋ナット 呼び10		4
オールアンカー M10		4

納まり・基礎寸法

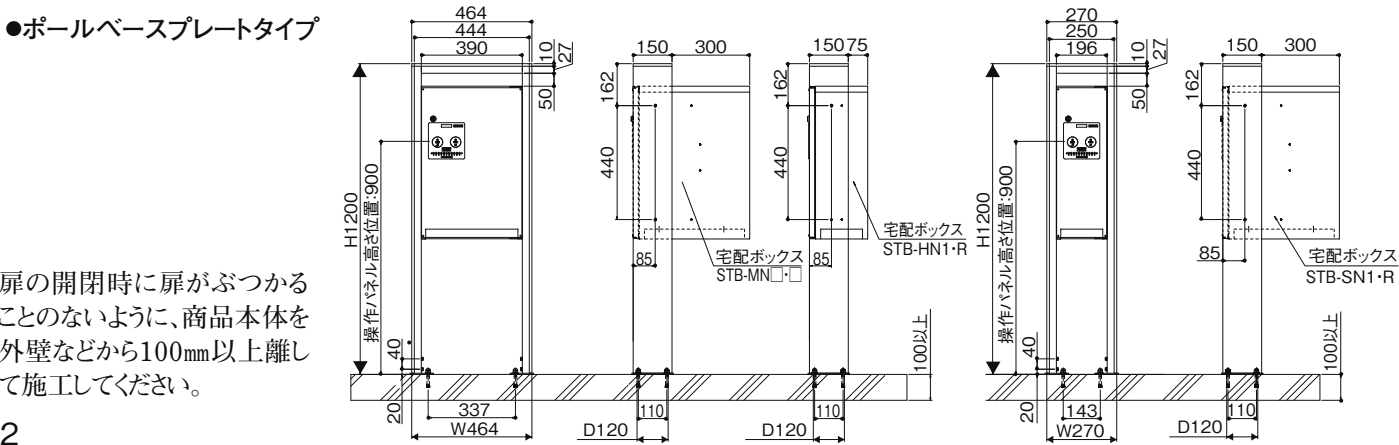
下図は商品構成の一例です。

●ポール埋め込みタイプ



扉の開閉時に扉がぶつかる
 ことのないように、商品本体を
 外壁などから100mm以上離し
 て施工してください。

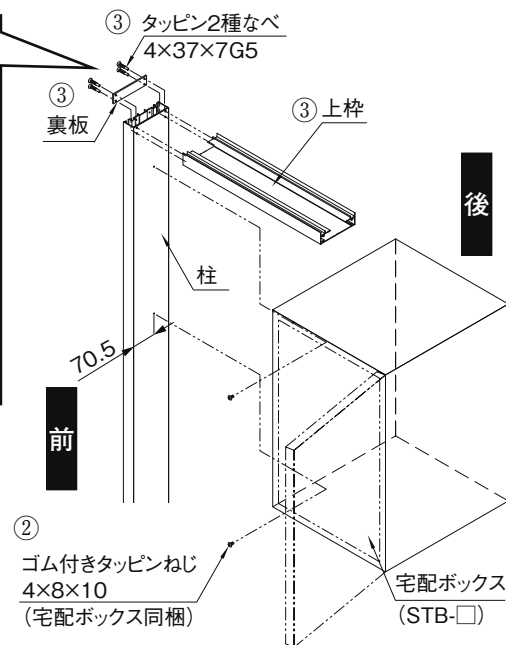
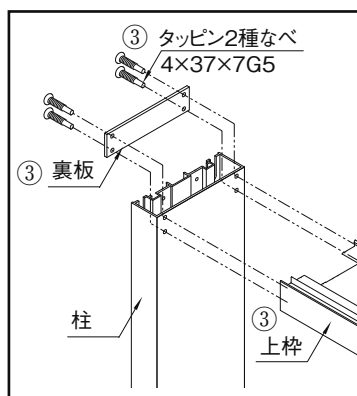
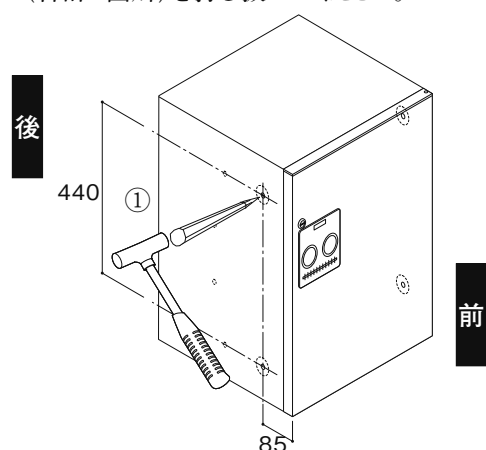
●ポールベースプレートタイプ



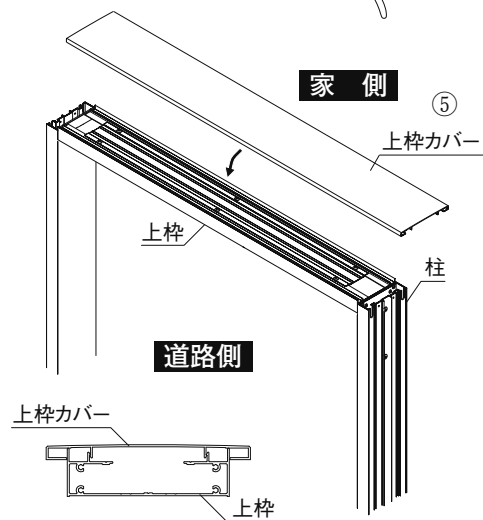
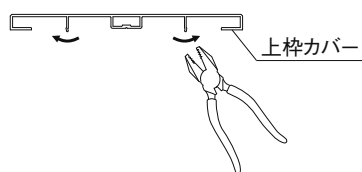
扉の開閉時に扉がぶつかる
 ことのないように、商品本体を
 外壁などから100mm以上離し
 て施工してください。

1 ポールの組み立てと設置（ポール埋め込みタイプの場合）

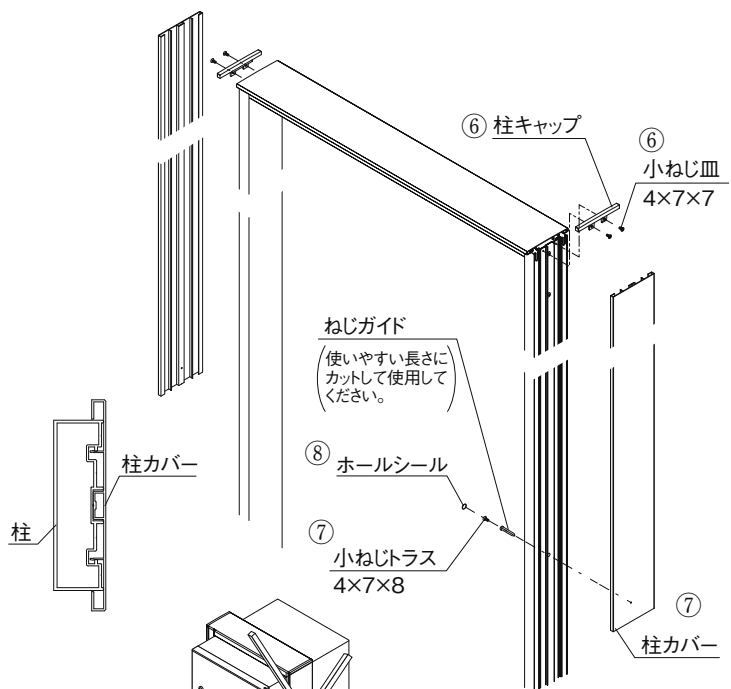
- ① 宅配ボックスのノックアウト穴左右2箇所（合計4箇所）を打ち抜いてください。



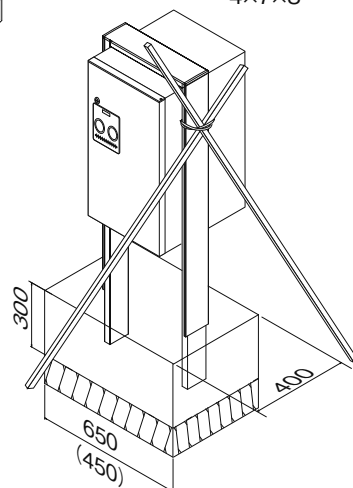
- ② 宅配ボックスの内側から一方の柱にねじ止めしてください。
（※取り付け穴に先にねじを切っておくと取り付けが容易にできます）
- ③ 柱と上枠を裏板を介してねじ止めしてください。
- ④ 残りの柱を②、③と同様に反対側へ、ねじ止めしてください。
- ⑤ 上枠カバーを上枠の中央に合わせて取り付けてください。
- ※はめ合いがゆるい場合は、ペンチなどで上枠カバーのフィンを外側へ少し倒してください。



- ⑥ 柱に柱キャップをねじ止めしてください。
- ⑦ 柱に柱カバーをはめ込み、柱キャップ下面に柱カバー上端を合わせてください。
ねじガイドを用いて柱と柱カバーをねじ止めしてください。
- ⑧ ねじ止め後、柱の穴にホールシールを貼り付けてください。



- ⑨ 柱を埋め込み穴に設置し、仮固定してください。
※柱を支え棒などで自立させてください。
- ⑩ 納まり寸法、ポールの垂直・水平を確認しコンクリートを打ってください。
※()内はFMP-Sの場合の寸法



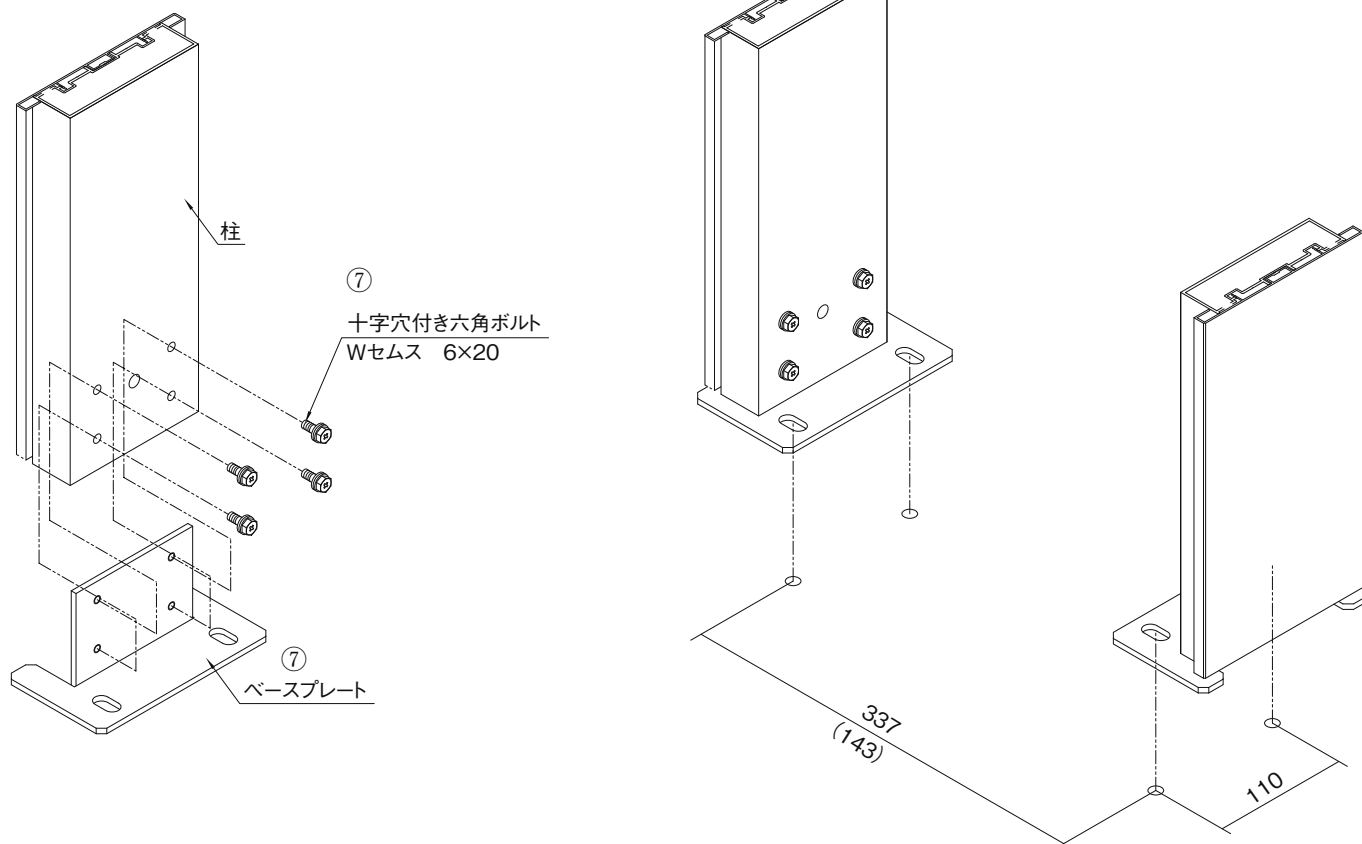
2 ポールの組み立てと設置（ポールベースプレートタイプの場合）

前頁①～⑧と同様に宅配ボックスと柱を組み立ててください。

⑦柱下部にベースプレートを取り付けてください。

⑧本体を設置箇所に仮置きして取り付け位置を決めてください。

※（ ）内寸法はFMB-Sの場合。



⑨取り付け位置に合わせて、φ10.5深さ60mm以上の下穴をあけてください。

※下穴をあけた際の削りカスはしっかりと下穴から出してください。

⑩本体を設置した後、アンカーのねじ端部から2mm下にナットをセットして、アンカーを挿入してください。

⑪ベースプレートにセットしたまま、アンカー頭部の芯棒をハンマーで打ち込んでください。

（ハンマーで打ち込みを行う際、商品にキズをつけないようにダンボールなどで養生を行ってください）

⑫ナットをはずし、袋ナット・平座金・ばね座金で固定してください。

